



本記念事業は追手門の「過去・現在の総力をあげて未来を描く」一大イベントで、日本の私学教育をリードする新しい追手門の姿を世に問う絶好の機会であると考え、昨年十月に120周年記念委員会をもうけ、本格的な準備に取り組む。

120周年記念事業 次の通り

大学、各学校では五ヵ年計画を早急に立ち上げ、その中で「キャンバス整備計画」をまとめる。老朽化した校舎、施設を「持続可能な競争力」を備えたインフラの整備のため総資金需要は未だ経験した事のない大規模なものとな

る。本記念事業は追手門の「過去・現在の総力をあげて未来を描く」一大イベントで、日本の私学教育をリードする新しい追手門の姿を世に問う絶好の機会である。そのため、この3月に法人理事会の中に記念事業準備委員会をもうけ、本格的な準備に取り組む。

120周年記念事業始まる 本会理事会に説明

さる 3月9日、本会理事会に学院当局より川人常務理事らがおいでになり、学院創立120周年記念事業計画についての説明があつた。

本学院は、平成二十年に創立120周年を迎えます。が、全学院部局長会はこれに当たり伝統とアイデンティティを重んじ、新しい追手門学院大学の姿を世に問う絶好の機会であると考え、昨年十月に120周年記念

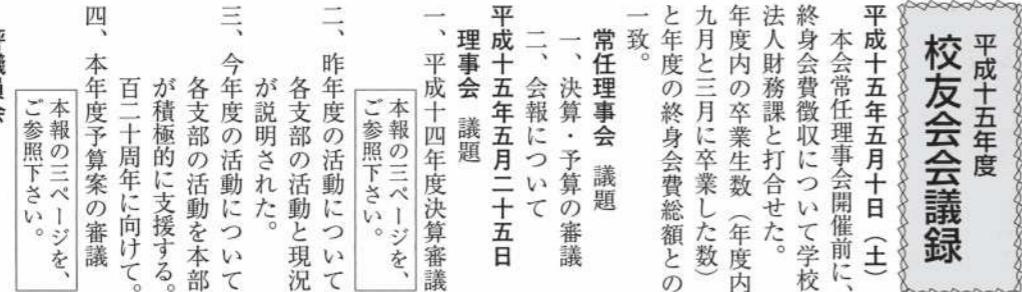
事業の準備活動をスタートさせました。当日、本理事会に先立ち川人公一常務理事、山中雅夫常務理事、胸永等法人事務局長、宮本幸治120周年記念準備担当課長の4名が来臨し、本会に協力を要請するとともに記念事業の全体の説明を行つた。

小坂井会長は、具体的な記念事業の概要がまとまりた段階で協力すべく協議したいと締めくくつた。

そのほかでは、会報の発行回数、時期の調整や決算予算の審議がなされ、すべての議案が承認された。

追手門総合改革プランの推進、120周年記念事業の組み立てについては、今後学院内外関係各位のご意見を十分に伺い、ご指導、ご鞭撻を得ながら、追手門の総力を挙げて未来の追手門の基礎づくりを進めていきたい。

(以上、蟻柴潤一・記)



評議員会
後藤学長が来られ大学当局が財團を設立したいと説明された。
理事会報告を承認。
(大橋陽一・記)

近ごろ思うこと

川端 敬三
(経営十二期)

これは、一体、何なのだろう。そんな想いが、頭に浮かぶ。突然、飛び込んできた、あの、ニューヨークの朝、高層ビルのドテッ腹に民間航空機がぶつかった。

煙と炎を上げる世界貿易センターを映すテレビの前で、よりによって、こんな事故が、と思った。

その後、二番機が突込み、ワシントンのペンタゴンに三番機が突撃したと告げる。テレビの画面を、ただ呆然と見詰めていたように思う。

世界貿易センターのツイン・ビルにしろペントAGONに巣かかる人々、崩れ落ちた建物の下で押し潰された人たちの無念は、如何ばかり

であろうか。そこまで考えが及ぶのに少しの時が必要な程、大きなショックを受けた。

紛れもない現実としてのテロリズムを目の当たりにしたときに、神も仮も無く、あるのは、人の心に住む、鬼というか悪魔というか、そんな邪惡なものだけだと強く思つた。

私が、死について考えるとき、老い、病(やまい)、事件、事故を思い浮かべる。天災や戦争などはなかなか想いの及ばぬところである。

しかし、今現在、テロリズムという人間の心の悪鬼、悪魔の所業が、世界中に、不安と死を振りまいている。しかも、それは加速度的に増大しているよう、思われる。

自らの想いが、通じないからと言って、こうも軽々しく人の命を奪い去る。

その事を、悪鬼、悪魔の所業と言わずして何と呼べば良いのであろうか。

女性、なわびなど奪い合い互いに殺戮を繰り返し、愚かな戦争を重ねてきた。野生の獣、動物ですら、同種を死に至らしめる事は少ないと聞いています。

テロリストは一体全体、何が欲しいのか。過去の遺恨を引き摺って、ただただ果てしなく殺戮を繰り返すことが望みなのであろうか。分けもわからず、生きる時を奪われ、亡くなつた人たちのことを、どう考えているのか。多分、そんなことを考へることさえ、かなわない何かが、テロを行う彼らの心の中に、巣くい、住みついているのかも知れない。

生まれてから、このかた、戦火の止むことがなかつた国に生き、悪鬼悪魔の思いのままにしか、生きる道を見い出し得なかつたからであろうか。その人々の心の中から、悪鬼悪魔を如何にして無く

せるのか。生まれてから戦争を知らない平和ボケの私たち、一体なにをすればよいのか。世界には食料の足りない国が数多く、住居も無い人々の多い国もある。その一方で、近代的合理主義で育てられた牛たちがブリオンに侵され大量に野焼きされている。

人は、どこまで行こうとしているのか。何を何処に置き忘れてきたのか。何を何処に置き忘れてきたのか。何を何処に置き忘れてきたのか。

人間はあらゆる傲慢さを捨て去り、謙虚を持ち、冷静に、自然や他の人たちの話に耳を傾けるべきではないだろうか。

人類は歴史の進歩を止めても、脚下照顧、足元を見つめ直す必要があるのでないだろうか、と切実に考えていく。

湧き出る想いを、綴っただけの文章を、校友会会報に掲載して戴く光榮を感じながら、筆を止めます。

今年のホームカミングデー。日々の煩わしさから離れ、母校の自然に囲まれ、思い出を語り合いませんか。これからは校友会の事をしては、日常生活中で、近代的合理主義で育てた学生が頻発しています。しかし、私ども一般市民としては、日常生活により注意して物事を行うぐらいしか、手立ては無いと思ひます。

朝夕、めつきりと涼しくなりました。世間では何かと大変な事件や事故が頻発しています。誠に嘆かわしい次第です。

しかし、私ども一般市民として、日々の煩わしさから離れ、母校の自然に囲まれ、思い出を語り合いませんか。これからは校友会の事をしては、日常生活中で、近代的合理主義で育てた学生が頻発しています。しかし、私ども一般市民としては、日常生活により注意して物事を行うぐらいしか、手立ては無いと思ひます。

今年のホームカミングデー。日々の煩わしさから離れ、母校の自然に囲まれ、思い出を語り合いませんか。これからは校友会の事をしては、日常生活中で、近代的合理主義で育てた学生が頻発しています。しかし、私ども一般市民としては、日常生活により注意して物事を行うぐらいしか、手立ては無いと思ひます。

編集後記

平成14年度 決算書

貸借対照表

平成15年3月31日

校友会

単位 円

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	544,057,973	494,009,812	50,048,161
その他の固定資産	544,057,973	494,009,812	50,048,161
財団設立準備基金(特定預金)	544,057,973	494,009,812	50,048,161
流動資産	66,708,699	66,416,592	292,107
現金預金	66,708,699	66,416,592	292,107
資産の部合計	610,766,672	560,426,404	50,340,268

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
流動負債	63,411,397	55,710,217	7,701,180
未払金	55,190	94,010	△ 38,820
前受金	62,000,000	54,080,000	7,920,000
預り金	0	180,000	△ 180,000
義援預り金	1,356,207	1,356,207	0
負債の部合計	63,411,397	55,710,217	7,701,180

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
財団設立準備基金	544,057,973	494,009,812	50,048,161
基本金の部合計	544,057,973	494,009,812	50,048,161

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	3,297,302	10,706,375	△ 7,409,073
消費収支差額の部合計	3,297,302	10,706,375	△ 7,409,073

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	610,766,672	560,426,404	50,340,268

平成15年5月31日

追手門学院大学 校友会 平成14年度決算
会計監査報告公正なる監査の結果、別紙諸計算書は、平成14年4月1日より、
平成15年3月31までの校友会の保有する財産及び収支の状況
を正しく示しているものと認め、ここにご報告いたします。

追手門学院大学校友会

監事 村井秀郎
監事 阿部敏夫

資金収支計算書

平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで

校友会

単位 円

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
一般収入	54,110,000	52,790,000	1,320,000
会費収入	54,080,000	52,760,000	1,320,000
名簿収入	30,000	30,000	0
資産運用収入	40,000	59,680	△ 19,680
受取利息配当金収入	40,000	59,680	△ 19,680
雑収入	180,000	180,000	0
雑収入	180,000	180,000	0
前受金収入	0	62,000,000	△ 62,000,000
前受金収入	0	62,000,000	△ 62,000,000
その他の収入	0	210	△ 210
財団設立準備基金からの戻し収入	0	210	△ 210
資金収入調整勘定	0	△ 54,080,000	54,080,000
前期末前受金	0	△ 54,080,000	54,080,000
前年度繰越支払資金	66,416,592	66,416,592	△ 66,416,592
収入の部合計	120,746,592	127,366,482	△ 6,619,890

収支計算書

単位 円

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
会 費	54,080,000	52,760,000	1,320,000
受 取 利 息	40,000	59,680	△ 19,680
雑 収 入	180,000	180,000	0
大学周年事業寄付金	0	0	0
校友会会員名簿関係	30,000	30,000	0
収入の部合計	54,330,000	53,029,680	1,300,320
支出の部			0
一般経費			
人 件 費	900,000	851,200	48,800
会 報 印 刷 費	900,000	0	900,000
そ の 他 印 刷 費	500,000	50,400	449,600
通 信 費	2,400,000	140,082	2,259,918
交 通 費	50,000	0	50,000
消 耗 品 費	65,000	20,349	44,651
会 議 費	65,000	0	65,000
賃 借 料	0	0	0
慶弔 弔 費	20,000	0	20,000
名 簿 完 備 費	600,000	565,925	34,075
事 務 費	0	0	0
雜 費	10,000	2,130	7,870
公 租 公 課	20,000	18,006	1,994
卒 業 記 念 品 代	8,500,000	8,542,500	△ 42,500
学 友 会 活 動 援 助 費	250,000	0	250,000
大 学 祭 援 助 費	200,000	200,000	0
大 学 祭 行 事 参 加 費	0	0	0
支 部 設 立 準 備 費	100,000	0	100,000
支 部 援 助 費	200,000	0	200,000
国 際 交 流 費	150,000	0	150,000
寄 付 金	0	0	0
財 団 設 立 準 備 基 金 繰 入	50,000,000	50,048,161	△ 48,161
〔予備費〕	100,000	0	100,000
支出の部合計	65,030,000	60,438,753	4,591,247
当 年 度 収 支 超 過 額	△ 10,700,000	△ 7,409,073	△ 3,290,927
前 年 度 繰 収 入 超 過 額	10,706,375	10,706,375	0
次 年 度 繰 収 入 超 過 額	6,375	3,297,302	△ 3,290,927

新たな発展期を迎えた追手門学院大学

(現地演習等)、自主活動科目(放送大学等)の設置がなされた。教える側も、外の学界に名の通った先生や教育熱心な先生が増え、「研究も教育も」の体制が整備されてきている。

他の、新校舎の建設や新学部、学科の構想も検討中であり追手門学院大学は新たな発展期を迎えている。

る教育を行うことができるよう努力をしているところです。

ただ、その実績をあげることは簡単ではありません。残念ながら入学した段階では、これまで受験勉強から開放され遊ぶことができる、といつた、大学レジャー・ランド時代の感覚しか持っていない学生諸君がかなりいるのが現状です。

本学では今年から全学を挙げて「新生演習」という小クラスのゼミを置いて入学時からの導入教育に力を入れることにしておりました。置かれた状況を適確に把握し、大学出の学び方を上回つて、希望すれば必ず頭打ちが続く一方で、大学や学部の新設が続き、間十八歳人口の減少と進学率の頭打ちが続く一方で、大学定員が志望者を上回つて、希望すれば必ずどこかの大学に入れる、いわゆる全人が実現しますが、下位校ではすでに定員割れでその存続が危うくなる、大学淘汰の時代に入っています。

こういった時代に生き残つて、さらに発展を目指すためには何が必要なのでしょうか。企業であるならば「顧客満足」を図ること、大学で

院八十年記念事業の一環として一九六六年(昭和四十一年)に実現した。二〇〇八年(平成二十年)には学院一二〇周年を迎えることから、大学では新たな発展を期して、さまざまな努力と計画がなされている。

大学は一九七〇年(昭和四十五年)三月に第一回の卒業生を送り出して以来、この二〇〇三年(平成十五年)三月で、三万五千百七十八名に達した。

この間、経済と文学の二学部三学科から経済、経営、人間、文学の四学部八学科となり、校舎も一号館から出発して五号館まででき、体育館、研究棟、図書館、食堂棟等が加わった。

オーストラリア研究所、教育研究所、総合情報教育センター、国際交流教育センター、学生相談室など、研究機関や学生対応窓口も整備、充実してきている。しかししながら、経済界が

日本経済の厳しい状況が続く中、大学にとつても厳しい状況が続いている。十八歳人口の減少と進学率の頭打ちが続く一方で、大学定員が志望者を上

今は健康と二人の子供に恵まれ、日々頑張ております。

会長に選ばれ、早二年が経ちました。

活動内容は、地道ですが、①卒業生の名簿原簿の完備。
②校友会会報の発行。

③学術・交流基金の設立準備。

などが、校友会の大きな目標です。その事について名簿原簿はより正確に、校友会会報は、出来る限り、読み易く、発行回数も増やしたいと願っています。

③は、十数年来の本会の実現目標の課題ですので、今年度中に目処を立てたいと行動を開始しています。

校友会会員の会員の皆様

校友会に寄せた想い

会長 小坂井俊夫

「勢に力なし」と申します
お一人お一人のご協力が、
大きな波となつて、更なる
変革ができるのではないかと
しようか。

世の中は、小さな変化を
求めるエネルギーが合体し
積み上げられると、ある時
点で、大きな変化が起きる
タイミング・ポイント（臨
界点）に達するという概念
があります。

例えば、傷だらけになり
ながら自転車に乗る練習を
していると、ある日ある時、
突然、三十メートル程走る
事が出来るようになつたと

和とも校友会役員一同は
微力でございますが、ご期
待戴けるような活動を必ず
展開して参ります。宜しく
ご協力の程をお願い申し上
げます。

現役在学生の学友会や大学祭実行委員会への支援と協力などの説明をしたのです。が、同席していた人々は余り興味を示さなかつたのです。それどころか、「誰かが、しているから、別にいいかあ」という感じなのです。

校友会会員の総数は、もうすぐ、四万人。その人たちの中にも、同様の思いの人たちがいるのかな、と、自問自答した事でした。

校友会は同じ大学を卒業した人たち全員が組織している一つの団体です。

頑張っているのです。
二〇〇八年・平成二〇年、追手門学院創立百二十周年を迎えます。本会としては、どのような事で母校発展に寄与、協力ができるか?どのように参加、参画するのかと、大きな課題を抱え日々、役員同士話し合っています。

本部や支部の役員たちは、「一人一人の校友会」の気持ちで頑張っています。

今年度の活動目標として「支部活動の活発化」を、確認しています。

一人の校友会

副会長 大橋 陽一

元気でご活躍の事と、思います。

先日、在学中の仲間（三十年以上昔の仲間です）や後輩たちと会う機会があり、その席で、「先輩、校友会つて何してはるの？」と尋ねられた時です。

私は校友会会報の発行や会員名簿の管理、様々な記念事業、地域の支部活動、見送会などの学友会や大学

役員を始め、東京、東海、中・四国、九州の各支部の役員たちが、力を合わせて努力しています。役員の中には、頭髪を気にする年齢の者も増えてきました。

平成 15(2003年)8月8日

追手門学院大学校友会会報

平成15年度 収支予算書

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

科 目		予 算 額	前年度決算額	差 異
収入の部				
会 費	費	56,680,000	52,760,000	3,920,000
受 取 利 息		50,000	59,680	△ 9,680
雑 収 入		0	180,000	△ 180,000
大 学 周 年 事 業 寄 付 金		0	0	0
校 友 会 会 員 名 薄 関 係		30,000	30,000	0
収 入 の 部 合 計		56,760,000	53,029,680	3,730,320
支出の部				
一般 経 費				
人 件 費		900,000	851,200	48,800
会 報 印 刷 費		1,000,000	0	1,000,000
そ の 他 印 刷 費		500,000	50,400	449,600
通 信 費		4,900,000	140,082	4,759,918
交 通 費		50,000	0	50,000
消 耗 品 費		50,000	20,349	29,651
会 議 費		50,000	0	50,000
賃 借 料		0	0	0
慶弔 弔 費		20,000	0	20,000
名 簿 完 備 費		700,000	565,925	134,075
事 務 費		0	0	0
用 品 費		0	0	0
雜 費		10,000	2,130	7,870
公 租 公 課		20,000	18,006	1,994
卒 業 記 念 品 代		8,600,000	8,542,500	57,500
学 友 会 活 動 援 助 費		500,000	0	500,000
大 学 祭 援 助 費		200,000	200,000	0
支 部 設 立 準 備 費		100,000	0	100,000
支 部 援 助 費		200,000	0	200,000
国 際 交 流 費		150,000	0	150,000
寄 付 金		0	0	0
財 団 設 立 準 備 基 金 繰 入		42,000,000	50,048,161	△ 8,048,161
〔予備費〕		100,000	0	100,000
支 出 の 部 合 計		60,050,000	60,438,753	△ 388,753
当 年 度 収 支 超 過 額	△	3,290,000	△ 7,409,073	4,119,073
前 年 度 繰 越 収 入 超 過 額		3,297,302	10,706,375	△ 7,409,073
次 年 度 繰 越 収 入 超 過 額		7,302	3,297,302	△ 3,290,000



第55号
平成16年(2004年)1月15日
発行者 〒567-8502
茨木市西安2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 小坂井俊夫
電話 072-643-6135
FAX 072-643-6099
編集責任 川端敬三
©2004

今年、娘が大学生になりました。娘の話を聴きながら、自分の大学生活を、懐かしく思い出しています。あの頃、四国の田舎から出て来て一人暮らしをしていました。隣のアパートに同じクラブの友達がいて、毎日毎日が楽しく充実していました。四年生の時に、アメリカでホームステイを経験しました。その時に、一緒にアメリカを訪ねた同級生が、今の主人です。知り合ってから計算すると、人生の半分以上、一緒にアメリカでホームステイを経験しました。その後、一緒にアメリカを訪ねた同級生が、今の主人です。二十年ほど前に、久し振りに、クラブの連絡が取れる人達だけが集まりました。

五年ほど前に、久し振りに、クラブの連絡が取れる人達だけが集まりました。二十年ほど前には心配がありましたが、話をすると、みんなにいることになります。

おめでとうございます。

校友会員のみなさま、

益々ご清祥でご隆盛の事と

心よりお慶び申し上げます。

世界の現況は拉致やテロ、イラク戦争など、政治的に不安定で悪い方向に進んでいます。

更に、日本の経済状態はあらゆる企業が存続を求め、その為、大幅な賃金カットやリストラによる雇用者の大量解雇等が私達に怒涛の如く押し寄せ、私達の将来、老後に、一種の不安を投げ掛けています。

このよう暗い環境の中、私達追手門学院大学卒業生や教職員の構成する追手門学院大校友会員の皆様は、どのような生活設計をされているのでしょうか?

一昨年、会長に推挙され、

さしてやる事はない

突然ですが校友会会報を毎回送つて戴いている封筒の表側にあるシンボルマーク、実は、私が製作したのです。平田明氏のアイデアで私はそれを実際のマークとして形作りをしたのです。

私の職業はグラフィックデザイナー。この当時には、校友会の会長さんは、関というお名前だったようだ。思っていたのですが、もう何十年経ったのでしょうか?

まだデザイナーに成りたての私としては、偶然にも母校創立二十周年記念の、シンボルマークが作れるとあって、ピッククリするやら、嬉しいやらで、とにかく、一生懸命、アイデアを出しました。

いだくことのできるまちかしわら」を目指して奮闘しております。

最後になりましたが、柏原市にこられた際には、皆さまのご活躍されているお姿や拝見し、種々なお話を拝聴させて戴きたいと存じますので、ぜひご連絡下さいますようお願いします。

人形一筋三十年

大野 隆敏

(昭和四九・文社)

四年間の学生生活は勉学?と車とボウリング、楽しい日々はあつと言う間に過ぎ卒業してから、入社した企業の子ども乗り物、玩具の卸売業で新しく始めたひな人形・五月人形の販売も、三十年めを迎えます。

この間、楽しいことや苦しいことが幾度かありました。

人形の時期には、三十年間、一日も休まず頑張つて参りました。

いだくことのできるまちかしわら」を目指して奮闘しております。

最後になりましたが、柏原市にこられた際には、皆さまのご活躍されているお姿や拝見し、種々なお話を拝聴させて戴きたいと存じますので、ぜひご連絡下さいますようお願いします。

○七二九一七二一一五〇一
(柏原市役所)
自宅 柏原市高井田
電話 一五六四一二四
○七二九一七二一一五〇一
(代表電話)

もう一度

白井 悅子

(昭和五一・文英)

英語教師になるのが夢で頑固な父を振り切り進学したのが「英米語学文学科」。しかしワンワンワルツの天野元先生、毛深くおられるマンモス樋口先生や、ケヌセの草壁先生、虫に命を賭けられた生物の先生や、素晴らしい講師陣と調った学舎。なのに、私たちは、掲示板に休講の知らせを見付けるや飛び上がって喜び、遊びに出掛けたりしました。

青い空、続く白いハイ・ウェイ。まるでユーミンの歌の世界です。どこまでも自由。

ところで向学の思いは、何處に行つてしまつたのでしょう。

取敢えず無難に卒業し、就職、結婚。子どもにも、恵まれ、幸せなはずだった

前年の姓名で、卒業証明書も単位習得証明書も、三十年の時を超えて私の目の前に現れて来ました。その時の感激と言つたら、もう言葉では尽くせません。

私はその二通の証明書を胸に抱きながら母校の坂道を下り帰つていきました。英語教師に成れなかつたけれど書道教師に成ります。必ず、今度こそ。

母校、追手門学院大学よ。私にもう一度、チャンスをくれて有難う。今、心から、卒業生であることを誇りに思います。

後になりましたが、天野先生御無沙汰しています。七期生のミス・イエスペルセンです。思い出を沢山、あります。君、大学は出てるんだろう?と大きなヒントを与えて下さつたのです。私は、ドキドキしながら母校の門をくぐりました。事務でその旨をお話するとコンピュータで、検索して下さいました。あつた!消滅していかつた。結婚

人形の時期には、三十年間、一日も休まず頑張つて参りました。

これからも皆さん!拝見しております。

校友会会報をいつも楽しく拝見しております。

これからも皆さん!

頑張つて下さい。

人形の時期には、三十年間、一日も休まず頑張つて参りました。

これからも皆さん!

頑張つて下さい。

校友会会報をいつも楽しく拝見しております。

これからも皆さん!

頑張つて下さい。

